

2)水稲新品種候補「上育418号」

上川農業試験場 研究部 水稲育種科
(水稲育種指定試験地)

1.はじめに

北海道の水稲梗作付けは平成2年以降「ゆきひかり」、「きらら397」の2品種でその80%以上を占めている。しかし、「ゆきひかり」は耐冷性が強いものの、その食味は劣り、良食味の「きらら397」は耐冷性が不十分にもかかわらず地帯別栽培指標を越えて作付けされ、平成5年冷害を含めて産米上の大きな不安定要因となっている。このため、「ゆきひかり」、「きらら397」に替わる良食味耐冷品種の育成が急務とされている。

2.育成経過

本系統は、昭和63年、極良食味品種「あきたこまち」と早生・耐冷性系統「道北48号」のF₁を母とし、中生・良食味系統の「上育397号」(のちの「きらら397」)を父として交配し、その雑種後代から選抜・固定された系統である。

3.特性の概要

本系統は中生で「きらら397」を上回る良食味品種で、耐冷性が強く初期分げつが旺盛であることが特長である。出穂期は育成地で「ゆきひかり」より3日早く「きらら397」並であるが、普及見込み地帯では両品種より1日早い“中生の早”である。成熟期は育成地では両品種より3～5日早く、普及見込み地帯では「きらら397」より2日早い「ゆきひかり」並の“中生の早”である。

耐倒伏性は「ゆきひかり」並かやや劣る“中～やや弱”。障害型耐冷性は「ゆきひかり」よりやや強い“強”で、いもち病耐病性は、葉・種いもちともに「きらら397」に劣り、“中”である。

収量は「ゆきひかり」並で「きらら397」にやや劣る。品質は「ゆきひかり」、「きらら397」に近いが、検査等級はやや劣る。割粃の発生が両品種より多く、刈遅れ適性がやや劣る。搗精歩留まりは「きらら397」よりやや高く、白米白度は「ゆきひかり」、「きらら397」にやや優る。

食味は「きらら397」よりも安定して良い。白米のタンパク含有率は「ゆきひかり」、「きらら397」よりやや低い。

4.普及態度

本系統には倒伏、いもち病、割粃についての弱点はあるが、食味が「きらら397」より明らかに1ランク優るために、上川(士別以南)、留萌中部以南のほぼ全道における「きらら397」の一部および「ゆきひかり」の一部に置き換えて作付し、「きらら397」を越える良食味米の生産を開始する。

《栽培上の留意点は以下の通りである。》

- ①本系統は耐倒伏性が劣るので多窒素栽培は厳に慎む。
- ②いもち病抵抗性が不十分なので発生予察に留意し適期防除を徹底する。
- ③割粃の発生が多いので、病害虫の適正な防除を行い被害粒発生による品質低下を招かぬよう努めるとともに、適期刈取りを励行する。
- ④種子生産にあたっては、脱ふ粒が発生しやすいので、種子の取扱に注意事項に十分留意する。

表1 「上育418号」の特性概要

系統名\形質 品種名	早晚性		草型	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	登熟日数 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	耐倒伏性
	出穂期	成熟期								
上育418号	中生の早	中生の早	穂数	8.1	9.17	47	65	15.1	762	中～やや弱
ゆきひかり	中生の早	中生の早	偏穂数	8.4	9.22	49	69	17.4	619	中
きらら397	中生の早	中生の早	穂数	8.1	9.20	50	62	15.8	684	中～やや強

系統名\形質 品種名	障害型 耐冷性	葉いもち 病抵抗性	穂いもち 病抵抗性	収量 (kg/a)	玄米 千粒重 (g)	検査 等級	玄米 品質	食味	アミロース 含有率 (%)	タンパク 含有率 (%)	アミログラム 最高粘度 (B.U.)
上育418号	強	中	中	50.6	20.6	1下	上下上	上中上	20.6	6.6	603
ゆきひかり	強	中	中	50.8	19.6	1中下	上下上	上中	20.5	6.9	588
きらら397	やや強	やや強	やや強	51.7	21.6	1中下	上下上	上中上	20.0	6.9	610

注)平成5年から7年の試験結果(上川農試、中苗、標肥)。

表2 「上育418号」の耐冷性検定試験結果、割粳歩合、刈取時期別検査等級(上川農試)

系統名 品種名	耐冷性検定試験結果				判定	割籾歩合(%)		刈取時期別検査等級		
	平5		平7			育成地 H4～7	現地 27ヶ所 H7	刈取時期(成熟期後日数)H7		
	出穂期	稔実(%)	出穂期	稔実(%)				0日	7日	14日
上育418号	8.12	50	8.3	32	強	49	36	1中下	2中下	2中下
ゆきひかり	8.16	29	8.11	9	強	24	11	2上	1下	1下
きらら397	8.16	20	8.5	3	や強	39	19	2上	2上	2中上
はやゆき	8.12	37	8.1	23	強～極強	-	-	-	-	-

注)耐冷性検定試験は中期冷水掛流し、3区平均の値。割粳歩合、刈取時期別検査等級は標肥。

表3 「上育418号」の食味試験結果(上川農試)

系統名 品種名	外観		香り	味	口あたり	粘り	柔らかさ	総合評価
	白さ	つや						
上育418号	0.45	0.34	0.02	0.12	0.37	0.45	0.49	0.54
ゆきひかり	-0.32	-0.34	-0.06	-0.25	-0.53	-0.55	-0.24	-0.57
きらら397	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

注)平成4~7、39回の平均、但し「ゆきひかり」は5回のみ。試食人数は8-13人。